



笑顔・やさしさ・感動の「卒業を祝う会」(3/2)

「ありがとう 笑顔 やさしさ 神ってる!」のスローガンのもと、3月2日(木)に「卒業を祝う会」が行われました。5年生が中心になって準備や運営を進めてくれました。

各学年の歌や劇などの出し物と6年生の成長をまとめたスライド上映、そしてプレゼント贈呈などがありました。直前にインフルエンザによる閉鎖のあった学年もありましたが、どの学年も6年生への感謝の気持ちが伝わるように一生懸命練習した心のこもったものでした。笑顔とやさしさ、そして感動につつまれた素晴らしい卒業を祝う会になりました。



3・4年生「オリジナル劇 さるかにつるの恩返し」



1年生「6年生へメッセージ・プレゼント」



2年生 劇「6年生を祝うために」



5年生 劇「6年間の思い出」歌「ありがとうの花」



6年生の様子



教職員の「世界で一つだけの花」

6年生は、英語劇「ももたろう」を全員で演じてくれました。すべて英語の台詞をしっかりと覚えて一人で何役もこなし、堂々と表現して下級生の良いお手本になってくれました。

当日は、大勢の保護者の皆様や学校評議員さんにおいでいただき、楽しく盛大に開催できました。あたたかい応援の拍手をありがとうございました。

民生児童委員会議(2/23) 学校評議員会議(3/2)開催

2月23日(木)に民生児童委員さん、主任児童委員さんにお集まりいただき、児童福祉の観点で本校児童に関する情報交換等を行いました。また、3月2日(木)の卒業を祝う会の終了後、第3回学校評議員会を開催しました。今回は2回の学校評価の結果をもとに本年度の学校経営についてご意見をいただきました。評議員さんからのご意見をもとにして取組の分析を進め課題を明確にして、次年度のよりよい学校経営につなげたいと思います。

民生児童委員さんや学校評議員さんには、日頃より学校に対して貴重なご意見をいただいております。これからも学校へのご指導とご協力をお願い致します。

インターネットの光と影～インターネット講習会～(3/2)



世の中の大きな変革を進めているものの一つがインターネットです。一昔前には考えられなかったほどハイスピードで自分と遠い国の人々がつながり、それによる情報のやりとりやビジネスが、全く新たな世論や経済環境を生み出しています。パソコンやスマホだけでなく、ゲーム機や携帯音楽機器など子どもたちの周りにも当たり前に世界とつながるアイテムがあります。これから生きる人にとって、それらの便利さの裏に潜む危険を知り、自分の身を守る術を身に付けることは大変重要なことです。新入学・進級を機に、新たにPCやスマホにふれる回数の増える児童もいるかも知れないと考え、講習会を設定しました。講師は甘楽町在住のPCインストラクター 高橋弘実さんです。

<保護者に向けて(学校評議員・保護者の方が聴きました)>

- ・子どもに使わせるか使わせないか、いつ使わせるか、最終的に保護者の判断・責任です。子どもに使わせる場合には、使い方などを親子でよく話し合しましょう。起きたことは全て子ども自身及び保護者の責任になるということを自覚・理解させましょう。
- ・親の目の届くところで使わせ、親も一緒にPCやスマホで遊ぶなどして、子どもの使うサイトやその内容・特徴を知り、同じ話が親子でできるようにしておきましょう。
- ・子どもは怖いもの見たさの面があり、危険をうすうす知っていてもネット上を進むことがあります。フィルタリングを必ずかけましょう。かけ方の複雑なものもあるので、お店に相談しましょう。
- ・子どもと一緒に子どもの納得できるルールを作り、作ったルールは守らせましょう。



<児童に向けて(丹生小4～6年の児童全員が聴きました)>

- ・自分用にPCやスマホを持っているひとは現在少ないようですが、使う場合は親の目の届くところで使しましょう。親はネットの危険性を知っているので、みなさんのことをとても心配しています。困った時や心配なことがある時は親や大人に必ず相談してください。
- ・ネット上には様々な危険があり、みなさんをだますつもりでわなをはっている人もいます。信用しすぎないこと。ゲーム機などでも個人情報のやりとりができてしまいます。自分や友だちの写真や個人情報を絶対送らないこと。一度ネット上にのった情報はなかなか消せないことを忘れないでください。
- ・ゲーム機等で通信(対戦)をして楽しむことのあるひとはわりとたくさんいるようです。ネット上ではすべて自己責任です。お金のかかるものもあります。自分が危ないな、責任とれないなと思う時には、立ち止まること。先に進まないでください。
- ・友だち同士がネット上で話す内容はみんな顔を含わせてもできる話にしましょう。悪口などはいけません。また、ネット上では言葉や顔文字・イラストなどを送るだけのこともあり、伝えたいことが伝わらず誤解されることがあります。通信機器に頼りすぎないで友だちとは直接会って話しましょう。